

食品廃棄物に関するアンケート調査結果

廃棄物対策課

1 調査目的

県では、食べ残しなど食品廃棄物に対する県民の皆さんの意識の高揚を図り、特に食品廃棄物が多く発生している宴会やご家庭からの排出を削減することを目的に、「ぎふ食べきり運動」に取り組んでいます。そして、この運動の趣旨に賛同し、協力する飲食店などの事業所を「ぎふ食べきり運動協力店・協力企業」として登録し、運動の推進に努めています。

そこで、現状の食品廃棄物に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の廃棄物行政の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター485人(うちインターネットモニター278人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和元年6月3日～6月17日

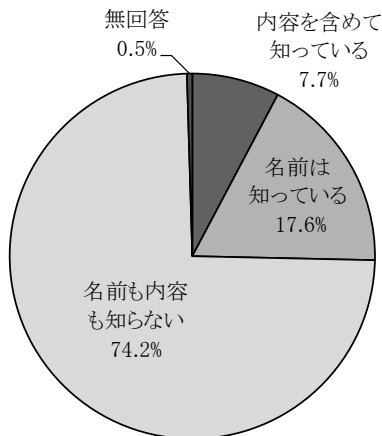
回収結果: 426人(回収率87.8%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

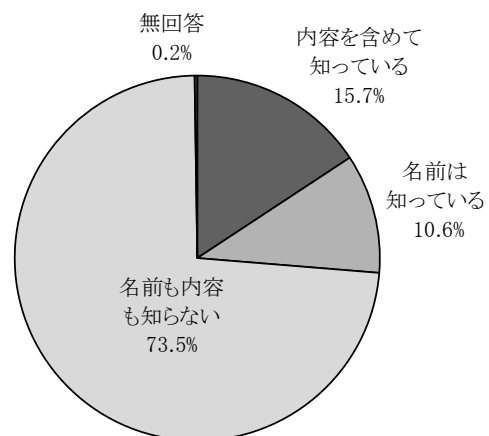
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○「ぎふ食べきり運動」の認知度



○「30・10(さんまる・いちまる)運動」の認知度



○家庭での食品廃棄物削減への取組みについて

「今も取り組んでおり、今後も取り組みたい」が71.6%、「今は取り組んでいないが、今後、取り組みたい」が25.6%となっている。

取組みの内容は、「消費期限に注意して食材を使い切る」が83.3%と最も多く、次いで、「買い物前に冷蔵庫の中をチェックする」が58.5%、「献立等を考え、必要な分だけ買い物をする」が42.8%となっている。

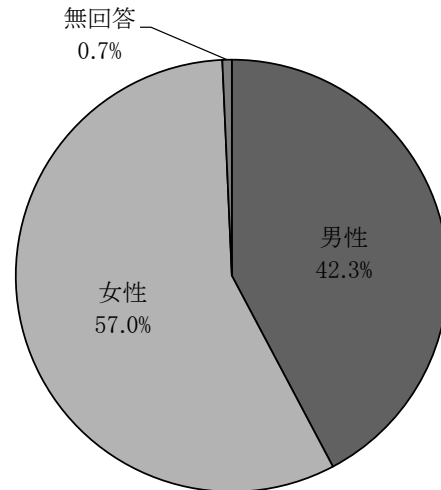
○宴会などでの食品廃棄物削減への取組みについて

「今も取り組んでおり、今後も取り組みたい」が43.9%、「今は取り組んでいないが、今後、取り組みたい」が44.8%となっている。

4 回答者属性

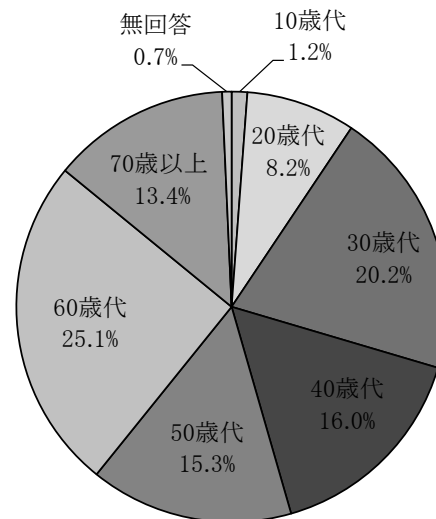
(1) 性別

	人数	割合
男性	180	42.3%
女性	243	57.0%
無回答	3	0.7%
計	426	100.0%



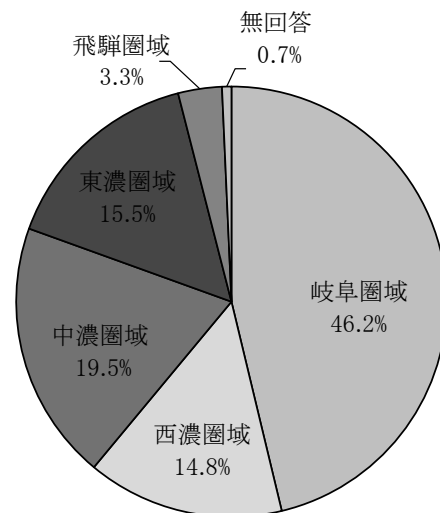
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	5	1.2%
20歳代	35	8.2%
30歳代	86	20.2%
40歳代	68	16.0%
50歳代	65	15.3%
60歳代	107	25.1%
70歳以上	57	13.4%
無回答	3	0.7%
計	426	100.0%



(3) 居住圏域別

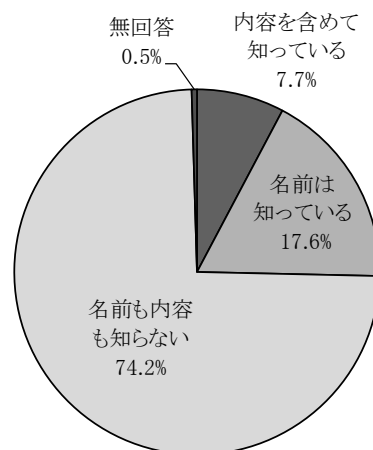
	人数	割合
岐阜圏域	197	46.2%
西濃圏域	63	14.8%
中濃圏域	83	19.5%
東濃圏域	66	15.5%
飛騨圏域	14	3.3%
無回答	3	0.7%
計	426	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、「ぎふ食べきり運動」を知っていますか。

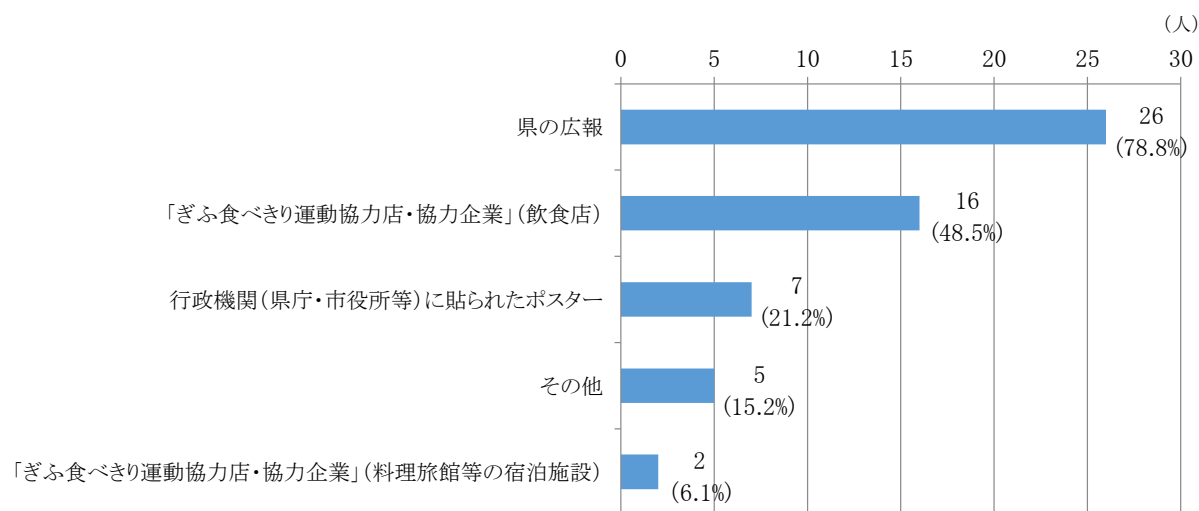
	人数	割合
内容を含めて知っている	33	7.7%
名前は知っている	75	17.6%
名前も内容も知らない	316	74.2%
無回答	2	0.5%
計	426	100.0%



問2 (問1で「内容を含めて知っている」と答えた方)
あなたは、「ぎふ食べきり運動」を何によって知りましたか。

(複数回答) 回答者 33 人

	回答数	割合
県の広報	26	78.8%
「ぎふ食べきり運動協力店・協力企業」(飲食店)	16	48.5%
行政機関(県庁・市役所等)に貼られたポスター	7	21.2%
その他	5	15.2%
「ぎふ食べきり運動協力店・協力企業」(料理旅館等の宿泊施設)	2	6.1%
計	56	-

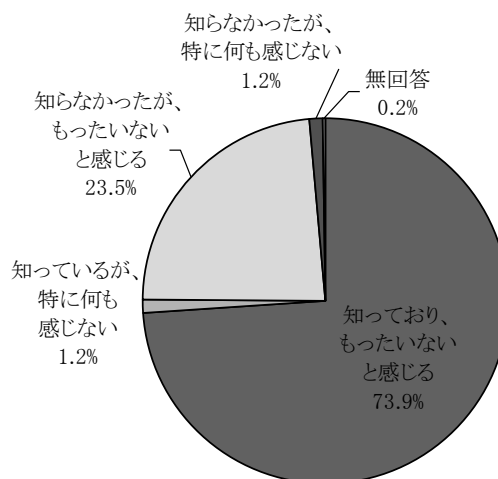


【「その他」の主な回答】

・ラジオ

問3 食品廃棄物のうち、料理の食べ残しや賞味期限切れなど、まだ食べられるのに廃棄される食品のことを「食品ロス」といい、毎日1人あたり約140g（茶碗1杯のご飯の量に相当）捨てていると推計されています。あなたは、この「食品ロス」の問題を知っていますか。また、この問題についてどのように感じますか。

	人数	割合
知っており、もったいないと感じる	315	73.9%
知っているが、特に何も感じない	5	1.2%
知らなかったが、もったいないと感じる	100	23.5%
知らなかったが、特に何も感じない	5	1.2%
無回答	1	0.2%
計	426	100.0%

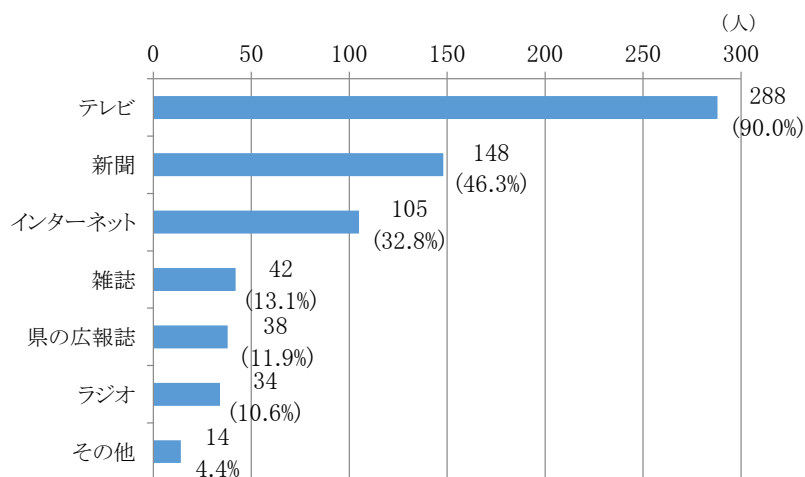


問4 (問3で「知っており、もったいないと感じる」「知っているが、特に何も感じない」と答えた方)

あなたは、食品ロスの問題に関する情報を何によって得ましたか。

(複数回答) 回答者 320人

	回答数	割合
テレビ	288	90.0%
新聞	148	46.3%
インターネット	105	32.8%
雑誌	42	13.1%
県の広報誌	38	11.9%
ラジオ	34	10.6%
その他	14	4.4%
計	669	-

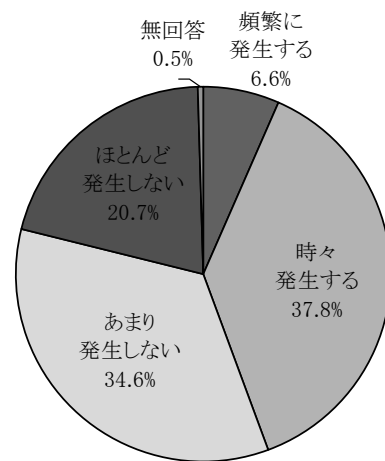


【「その他」の主な回答】

- ・勤務先
- ・小中学校の授業
- ・市の広報誌
- ・実際に目の当たりにして、ごみ収集日に、食べ物が捨てられているのをみた。

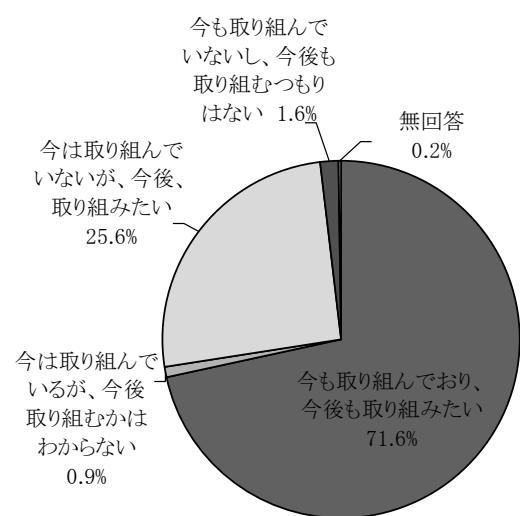
問5 あなたのご家庭では、料理の食べ残しや期限切れなどの食品廃棄物はどのくらいの頻度で発生しますか。

	人数	割合
頻繁に発生する	28	6.6%
時々発生する	161	37.8%
あまり発生しない	147	34.5%
ほとんど発生しない	88	20.7%
無回答	2	0.5%
計	426	100.0%



問6 あなたのご家庭では、食品廃棄物の削減に取り組んでいますか。また、今後取り組みたいと思いますか。

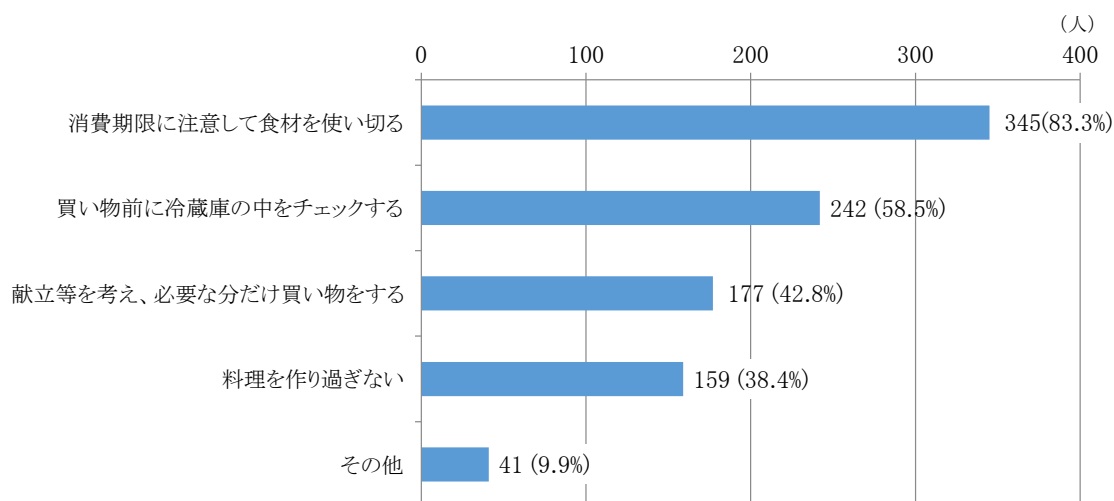
	人数	割合
今も取り組んでおり、今後も取り組みたい	305	71.6%
今は取り組んでいるが、今後取り組みかかわからない	4	0.9%
今は取り組んでいないが、今後、取り組みたい	109	25.6%
今も取り組んでいないし、今後も取り組むつもりはない	7	1.6%
無回答	1	0.2%
計	426	100.0%



問7 (問6で「今も取り組んでおり、今後取り組みたい」「今は取り組んでいないが、今後、取り組みたい」と答えた方)
 あなたのご家庭では、食品廃棄物の削減に関してどのようなことに取り組んでいますか。または、今後取り組むつもりですか。

(複数回答) 回答者 414 人

	回答数	割合
消費期限に注意して食材を使い切る	345	83.3%
買い物前に冷蔵庫の中をチェックする	242	58.5%
献立等を考え、必要な分だけ買い物をする	177	42.8%
料理を作り過ぎない	159	38.4%
その他	41	9.9%
計	964	-

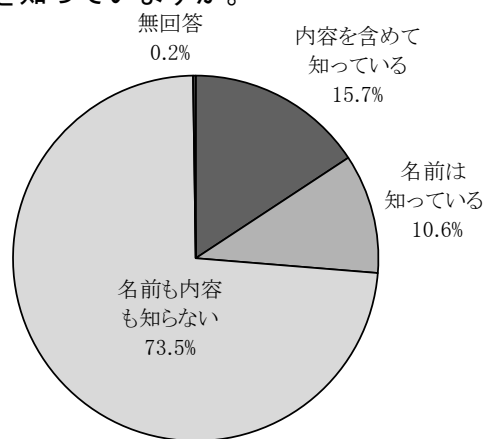


【「その他」の主な回答】

- ・生ゴミダンボールコンポスト
- ・その日に食べ切らなかった分は冷凍して、後日食べる
- ・賞味期限が過ぎても気にせず食べる
- ・近所や職場におすそ分けする

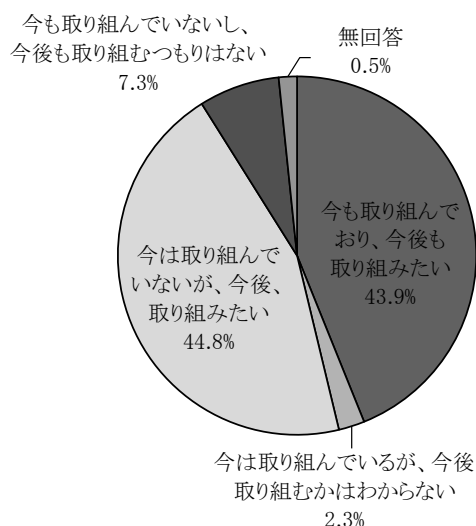
問8 食品廃棄物の削減に関する取組みの1つとして、「30・10（さんまるいちまる）運動」がありますが、あなたはこの取組みを知っていますか。

	人数	割合
内容を含めて知っている	67	15.7%
名前は知っている	45	10.6%
名前も内容も知らない	313	73.5%
無回答	1	0.2%
計	426	100.0%



問9 あなたは、宴会などで食品廃棄物の削減に取り組んでいますか。また、今後取り組みたいと思いますか。

	人数	割合
今も取り組んでおり、今後も取り組みたい	187	43.9%
今は取り組んでいるが、今後取り組みかかわからない	10	2.3%
今は取り組んでいないが、今後、取り組みたい	191	44.8%
今も取り組んでいないし、今後も取り組みつもりはない	31	7.3%
無回答	7	1.6%
計	426	100.0%



問10 その他、食品廃棄物に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。

- ・今は、どの学校も食育をととても大切に推進していて効果も出ている。子どもの頃から、食べ物の大切さを理解していれば、きっと捨てるということはなくなると思う。
- ・「ぎふ食べきり運動」も、「30・10運動」もとてもよいが、まだ知れ渡っていない。町内会の広報、小中高校などで広くPRしてはどうか。
- ・一般家庭よりもスーパー、コンビニなど食品ロスの多いところへの指導をお願いしたい。
- ・一般の人の多くがいわゆる「賞味期限」と「消費期限」を混同しているのではないと思う。食品ロスをなくするために、例えば「賞味期限」表示をなくしたり、一般の人に啓発活動をもっとする必要があるのではないかと。
- ・宴会では、会席料理のように皆が同一のメニューを供され、自分の嗜好に合わない料理は残してしまうこともあると思う。宴会のスタイルもビュッフェ形式にするなど、考える必要があると思う。
- ・定食屋などで持ち帰り用のプラスチックパックを渡してくれるところも多く、民間のそういった取り組みは素敵だと思う。例えば、このような取り組みをしている企業に対して補助金を出すなど、運動だけでは無いバックアップをしていただけたらなおこの取り組みが進むのではないかと。